

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	不二サイエンスイノベーションセンター	階数	地上 6F
建設地	泉佐野市住吉町1-1、1-2、1-3	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火地域指定なし	平均居住人員	150 人
気候区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年7月 予定	評価の実施日	2015年8月6日
敷地面積	(仮想敷地)3,874.57 m <sup>2</sup>	作成者	吉村建築設計事務所 高橋幸枝
建築面積	1,897 m <sup>2</sup>	確認日	2015年8月11日
延床面積	9,900 m <sup>2</sup>	確認者	吉村建築設計事務所 吉村建



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
 ①参照値 100%  
 ②建築物の取組み 97%  
 ③上記+②以外の 97%  
 ④上記+ 97%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 3.1

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	省エネルギーや耐久性に配慮して、地球温暖化防止・ヒートアイランド現象の緩和を図っている。	その他 特になし
Q1 室内環境	断熱性能の高い外壁材の選択、屋根裏の断熱材設置等により空調負荷の低減に努めている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地周囲に緑地を効果的に配置し、植栽に親しむことができるように配慮している。
LR1 エネルギー	高効率エアコン、照明の採用で設備システムの高効率化を図っている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> を削減し、地球温暖化防止を図っている。
Q2 サービス性能	節水器具を使用し、水資源保護に努めている。耐用年数の長い材料を使用して資源の保護を図っている。	
LR2 資源・マテリアル	節水器具による水資源の保護と再生品再利用が可能になるような工法を取り入れて資源の使用量を削減するよう努めている。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0041

Osakafu-新築・既存 2015V1.0

<b>【建物概要】</b>		建物名称	不二サイエンスイノベーションセンター					
		建設地	泉佐野市住吉町1-1、1-2、1-3					
		用途/区分	事務所					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価	★★★★☆				B+		
	CO2削減	★★★★☆				3		
	省エネ対策	★★★★☆				3		
	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★☆				2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		
エネルギー消費量の報告						報告しない		
<b>【評価項目】</b>								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.1	3		
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体 住戸・宿泊	5.0	3		
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			2.5			
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			3.0			
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			3.3			
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価			2.5			
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			3.4			
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			2.0			
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								